

● 明 治 大 学 ●

水 曜 会 会 報

第16号

発行所 明治大学水曜会
http://www.meiji-suiyokai.com
編集・発行人 平松 哲也
発行日 2013年12月20日
印刷所 株式会社 盈進社
☎ 03 (3262) 3471



会長挨拶

水曜会会長 平松 哲也

都内の銀杏もすっかり葉を落とし、冬景色となりました。寒さはこれからが本番です。会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととご推察いたします。また、平素より水曜会の運営にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

2013年は、富士山が世界遺産に登録される。2020年のオリンピックの東京開催が決定。我らの Mr. 長嶋さんが国民栄誉賞受賞と、久しぶりの明るい話題がありました。また、「和食」が世界無形文化遺産に登録されるそうです。日本の食文化への理解が深まる事を期待します。

何と言っても今年は、デフレ脱却に向けての経済政策である

アベノミクスへの期待が一番でしょう。株価は大きく引き上げられ、輸出企業を中心に企業業績は回復して来ています。これらは、期待先行の株価の上昇や円安がもたらしたものであり、賃上げを伴った実体経済の回復はこれからが期待されます。

建設業界では、資材の高騰、人材不足で入札が不調となる事態が頻発し始めました。震災復興需要に加え、アベノミクスによる財政出動、民間工事の伸びが背景です。建設業界の就業人数は、10年前には600万人を超えていたものが、2013年8月の統計では、500万人を切っています。これは何とかしなくてはいけないと感じました。

心も新たに『盛り上げよう！水曜会』です。会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げるとともに、水曜会を更に盛り立てるために、顧問の先生方をはじめとし、会員の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

技術見学会報告

研究部会

今年度の見学会は鹿島建設さまのご協力を得て、10月15日(火)東京都調布市にある鹿島建設技術研究所を訪問しました。

学生会員4研究室29名、OB会員12名、更に坂上先生、酒井先生を加えた総勢43名の大見学会となりました。見学対象は2011年に建設された研究所



本館と実験棟です。当該建物は空衛学会技術振興賞(2011年)、同技術賞(2013年)、IBEC サステナブル建築賞(2011年)、日経ニューオフィス賞(2012年)など関係業界、学会から多く顕彰された建築環境分野において非常に優れた建物です。参加者



左、中央、実験棟、右本館

は大会議室での研究所の概要説明の後、3班に分かれ1時間ほど館内を巡回しながら各所にて採用されているシステムや技術、使い勝手などの解説を受けました。汎用技術を用いたローコストでのビルのZEB化を目指して、館内の随所に工夫されたシステムや取り組みが見られます。

CASBEE 8.3の国内最高クラスの評価と建物のエネルギー使用量は標準的な事務所ビルと比較して▲61%の水準にあるとのことです。

館内見学後、会議室に戻り質疑応答で終了となりました。最後にご対応いただいた研究所の研究者、職員の方も交え記念撮影をして研究所をあとにしました。見学終了後は恒例の懇親会(27名参加)で大いに盛り上がりましたが、台風の接近で電車が止まらないうちに解散となりました。今回の見学会でご丁寧な対応をいただいた研究所にみなさんへ紙面を借りて御礼申し上げます。次回も多くの会員の方の参加をお待ちしています。



本館(鹿島建設HPより)

第17回水曜会親睦ゴルフコンペ開催

第17回水曜会親睦ゴルフコンペは10月12日(土)茨城県の岩瀬桜川カントリークラブで行われました。真夏のような青空が広がる絶好のコンディションのなか、初出場3名を含む16名が熱戦を繰り広げました。競技の結果は、83年卒業の吉田氏が初優勝、準優勝には加治屋氏が入り、三位はベスグロの伊豆丸氏でした。

帰りのバスで表彰式が行われ、お酒を片手のゴルフ談議で大いに盛り上りました。

コンペの様子は、ホームページでもご紹介しています。

優勝 吉田 孝之(1983年卒)グロス90ネット66(HC24)

準優勝 加治屋亮一(1970年卒)グロス107ネット69(HC38)

第3位 伊豆丸 暢(1982年卒)グロス72ネット71(HC1)

その他の出席者は以下の通りです。敬称略(卒業年度)

常田(61) 光野(66) 尾崎(77) 平川(66) 中村(78) 志賀(75) 平松(79) 荒井(82) 戸邊(82) 後藤(82) 酒井(90) 内田(90) 西村(03)

2014年も10月頃に開催を予定しております。お気軽に幹事までご連絡ください。

幹事 運営部会 戸邊 和幸

(1982年篠原研)

運営部会 伊豆丸 暢

(1982年篠原研)



講演会概要

都市開発における建築環境計画 東京国際フォーラムの設計・改修計画 と劇場コンサルティング

株式会社シアターワークショップ 今川敦子

経歴: 1990年1月～1992年5月:

Rafael Viñoly Architects, P.C. (NY)

1992年6月～1997年1月:

ラファエル・ヴィニオリ建築士事務所

1997年6月～現在:

株式会社シアターワークショップ

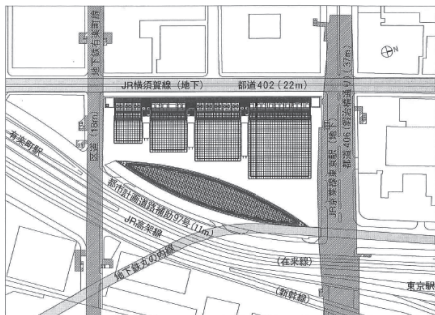
(劇場コンサルタント)

1) 東京国際フォーラムの設計

東京国際フォーラムは、1989年に
ニューヨークのラファエル・ヴィニオリ

建築概要

- ・設計: Rafael Viñoly Architects, P.C. (NY)
- ・国際建築家連合 (UIA) 公認デザインコンペ (1989) で
395作品より選定
- ・設計期間: 1990年3月～1991年1月
- ・工期: 1992年10月～1996年5月
- ・開館: 1997年1月11日
- ・敷地面積: 27,375 m²
- ・建築面積: 20,951 m²
- ・延床面積: 145,076 m² (地下3階、地上11階)
- ・構造: SRC造 (B2F-B3F)、S造 (1F-11F)
- ・工事費: 1,650億円



が日本で初めての UIA 公認国際コンペ
で応募総数 395 作品の中から選ばれ、
1996 年 5 月に竣工、1997 年 1 月に開館
した国際会議場・ホール施設です。

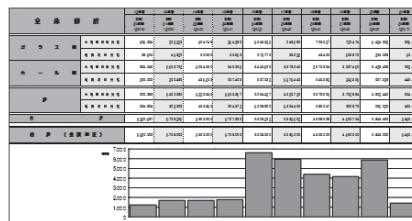
四周を鉄道に囲まれた騒音・振動的に
は非常に条件の悪い敷地に、音響条件の
厳しい複数のホールを建てる計画であ
り、施設の配置計画に加え、地中連壁、
浮構造 (BOX-in-BOX) など、様々な振
動防振・遮音対策が取られています。

2) 東京国際フォーラムの改修計画

竣工から 11 年目となる平成 19 年度に
中長期改修計画の見直しを行い、21 年度
から本格的な改修工事が始まりました。

平成 24～25 年度は 10 年間の中期改修
計画のちょうど中間地点に当り、大規模

中期改修計画 (12 年目～21 年目)



な工事が行われています。

東京国際フォーラムは、施設全体を休
館させることなく、施設を稼働させなが
ら改修を行なう計画ですの
で、多くの工事が夜間を中心
とした工事となりますが、長
期休館が必要となる工事に対
しては、部分的に休館を設定
しています。平成 24 年度は
ホール C を 3.5 ヶ月休館、今

年度はホール A を 2.5 ヶ月休館し、建築・
設備に加え舞台特殊設備の改修・更新工
事も実施します。

一般的に改修工事には長期の休館と予
算が必要となります。修繕・改修工事を
適切に行うことによって、建物の寿命を
延ばし、建物の価値を維持することがで
きますので、長期的な計画をたて、予算
を確保し、改修工事を行うことが重要と
なります。

3) 劇場コンサルティング

東京国際フォーラムの開館後、劇場コ
ンサルタントとして全国の様々な劇場・
ホールの計画に関わっています。

劇場・ホールは観客側と出演者側 (舞
台側) のそれぞれに対して適切な計画・
設計を行うことが求められる施設です。

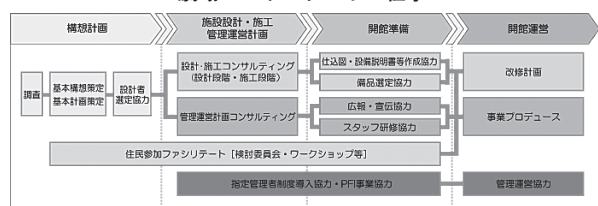
観客・出演者・道具の動線計画、舞台・
楽屋計画、大道具や演出用機材の収納計
画、舞台特殊設備などをそのホールの利
用目的にあわせて計画することが重要と
なります。

劇場コンサルティングには大きく分け
て以下の 2 種類の業務があります。

①施設計画、舞台特殊設備 (舞台機構・
舞台照明) 計画等 (ハード)

②管理運営計画、事業計画等 (ソフト)

劇場コンサルタントの仕事



建設業界セミナー(就職ガイダンス)

事務局 小山 実 (1982 年坂上研)

H24 年度も恒例化となった新ゼミ生
(設備・環境系) 約 30 名に対して建設業
界セミナーを平成 24 年 12 月 12 日 (水)
の 5 時限に生田キャンパスにて開催し
ました。主旨は、研究テーマの選考や就
職先の検討の参考になるように酒井先生
の挨拶のあと、平松会長による業界全体
と水曜会の概要説明の後、水曜会理事の
方々により 1 時間半に渡り行いました。
セミナーの後にはこちらも恒例の学生食
堂で先生方、OB と学生の親睦会を行い、

現場の裏話や生の声など活発な意見交換
が行われ、盛大のうちに終了しました。
今後も明治大学卒業生へのアドバイス、
建設業界の人事育成・説明者一覧表
確保のために続けてい
く予定です。

説明者一覧表

ゼネコン	岩本理事('83)
サブコン	小山理事('82)
設計事務所	蛭田理事('07)
エネルギー供給	戸邊理事('82)
デベロッパー	中村理事('78)

就職先一覧	22年度	23年度	24年度	25年度	公務員	3	—	0	5
ゼネコン	3	6	5	5	住宅メーカー	4	—	13	1
サブコン	6	8	2	2	建材メーカー	—	—	—	4
設計事務所	2	2	3	7	その他	6	—	4	7
設備設計	1	—	2	—	進学	7	11	3	8
デベロッパー	1	—	3	0	未定者	4	9	1	5
エネルギー供給	2	—	0	0	合計	39	36	36	44



建築設備研究室

教授 坂上 恭助



建築設備研究室では、建築の給排水シ
ステム、衛生器具等に関わる技術の開
発・研究を軸に、給排水設備をとりまく

社会情勢、国際比較等も行い、今後の建
築水環境のあり方について検討してい
ます。その一環として、毎年度、各国の文
献訳出を行っています。現在、本研究室
では以下の研究に取り組んでいます。

- ①トラップ封水が排水立て管内圧力に
及ぼす影響に関する研究
- ②大便器排水管の小口径化に関する実
験: 代用汚物の検討
- ③節水型大便器の適用拡大に係る既存
排水設備の適用性に関する研究

④サイホン排水システムの流れ特性の
実験的研究: 長配管 (100m) おける流
れ特性の検討、空調ドレン配管へのサ
イホン排水システムの影響の検証

⑤給水負可算定法の従来法とシミュ
レーション算定法の比較

M-2 田辺勇太郎 呉 光正

M-1 桑原 海 高橋真美子

卒論生 植村悠太郎 北風孝弥

栗田浩佑 齋藤里奈 田中勇輝

又吉佑介 山路松平

平成 24 年度水曜会賞

選考講評 酒井 孝司

水曜会の選考対象論文は、坂上研6題(9名)、酒井研7題(7名)、加治屋研6題(8名)、上野研6題(6名)の合計25題(30名)でした。坂上先生、加治屋先生、上野先生および酒井で、顕著な成果を挙げた卒業論文として各研究室1題を選考し、以下の4題に決定しました。坂上研究室：河原卓也君「4.8L型WC用の器具平均排出流量に関する実験的研究」；詳細な実験により、排水管接続とトイレトペーパーが排出流量に及ぼす影響を検討し、その排水特性を明らかにしている。酒井研究室：斎藤祐樹君「集合住宅における通風効果に関する研究」；実大の集合住宅実験棟において、通風時の室内風速と外部風の実測し、網戸・ルーバー

等が通風量に与える影響を明らかにしている。加治屋研究室：斎藤紗里さん・小川究君「接触熱伝導を考慮した床暖房室内の人体熱収支に関する研究」；実大床暖房模型における被験者の体表面温度等の実測と、CFDによる温熱環境解析との比較を行い、CFD解析の有用性を明らかにしている。上野研究室：松原可菜子さん「オーブンプラン教室を活用するための学習・運用方法の提案」；OP教室を有する小学校において、OP教室の使われ方に関する知見を蓄積するとともに、OP教室を活用するための資料を作成・提示して、その効果を検証している。

年会費納入のお願い

本年度の会費の納入をお願いします。郵便局の振込用紙を同封させて頂きましたので、会報受領より1ヶ月以内にお願

いします。振込用紙の通信欄に卒業年、研究室名のご記入をお願いします。また、銀行口座のご利用も可能です。尚、銀行口座の受取人名は従来のままとなっております。ご了承下さい。

◇年会費：正会員(卒業生)、会友共 3,000 円

◇振込先

—— 郵便局 ——

口座番号 00120-7-407637

加入者名 明治大学水曜会

—— 銀行 ——

口座名 三井住友銀行 日本橋東 支店
(店番号 034) 普通預金 口座番号 7592183受取人 めいじだいがく すいようかい じむきょくちょう
明治大学 水曜会 事務局長
ひらまつ てつや
平松 哲也

本会の継続と安定的運営のためにご理解とご協力を重ねてお願いします。

問合せ・連絡先 事務局長 内田 臣哉
(1988年貝塚研)久米設計 TEL03-5632-7801

建築環境工学研究室

教授 酒井 孝司

建築環境工学研究室は、地球環境に配慮した快適な建築・都市環境の実現を目的とした研究室です。快適な環境を創るために、実測・数値解析を用いて、様々な研究を進めております。具体的に今年度は、CFD解析に関する論文の調査、二点校正法における日射反射性能保持に関する研究、床暖房室内における風速の測定実測、オープンソースCFDコードの精度検証、不均一放射環境下における



温熱環境の評価、高層集合住宅における通風効果に関する研究、といったテーマに取り組んでおり、実測と解析の両面から建築空間の快適性にアプロ

ーチしております。

また、今年度も例年のように月に1度飲み会を開催し、9月には山中湖へゼミ旅行に行きました。建築環境工学研究室は明るく熱心に、日々研究を行っております。

M-2 隅田泰章 山根雄太

卒論生 青島裕也 今井賢一 岡崎翔大
加藤大紀 河野央樹 齋藤 希
山田一貴

建築環境デザイン研究室

准教授 加治屋 亮一

建築環境デザイン研究室では、主に室内空気の気流清浄、及び温度分布の数値解析予測に関する研究を行っています。このような予測法や評価法を確立することにより、建物内環境設計ツールとして、快適性、省エネルギー性の評価や向上に資することを目的としています。本年度は以下のトピックに関わる卒業研究に取り組んでいます。



2013 年度の研究テーマ

- ・CFDによる空調室外機の簡略化と精度検証
- ・ダブルスキン窓の熱的性能評価手法
- ・LCEMIによるエネルギーシミュレーション
- ・床暖房室内の熱的快適性評価
- ・コケ植栽による屋上緑化システム
- ・光・空調統合ダクトに関する研究

今年は大学院生が多数在籍しており、各研究のゼミ生を担当の院生が指導するなど、充実した体制で研究が行われています。

M-2 浅川拓也 今井将貴 大谷勝紀
戸部祐幹 八乙女由衣

M-1 高木紀予

卒論生 奥山みき 門脇朝彦 黒田将司
栄 陽平 高橋絵里 寺澤謙太
三橋里保 山下陽平

建築環境計画研究室

准教授 上野 佳奈子

建築環境計画研究室では、音環境を中心に、環境心理アプローチによって快適空間を追及する研究を行っています。今年度は、これまで力を入れてきた学校施設の音環境改善・音響設計手法に加えて、近年多様化している保育施設でも実態把握等のフィールドワークを始めました。H22 年秋からスタートした JST・CREST の「聴空間共有プロジェクト」では、下北沢の学外研究拠点にて立体音場再現システム(音響樽)が徐々に形を整え、生体計測等による基礎研究から実用化を見据えた応用研究まで、様々な角度から研究を進めています。研究以外では、M2 の3名が中心になってアメリカ音響学会主催の学生デザインコンペ(課題はオペラハウスの設計)に初めて参加し、入賞(“Commendation”)を果たしました。

M-2 樋田浩一 福井誠人 三浦吉博
吉光智哉

M-1 古屋佑樹 長幸宏

卒論生 磯野美波 石田久美子 荻田葉月
小橋宏紀 佐野貴広 高本浩伸
田村淑佳 村田沙織

総会の報告(平成25年6月27日)

明治大学リパティータワー岸本記念ホールにて総会が執り行われ、以下の議題が全て承認されました。

- ①平成24年度事業報告及び会計報告
- ②役員改選
- ③平成25年度事業計画及び予算案

平成24年度事業報告

- 5月16日 第1回理事会 16名
- 6月27日 第2回理事会
- 6月27日 総会・講演会・懇談会
OB50名+学生26名 出席
講演会(日建設計総合研究所 須藤俊彦 顧問)
- 7月18日 第3回理事会 12名
- 9月19日 第4回理事会 10名
- 9月25日 見学会(清水建設本社ビル)
- 10月13日 親睦会(第16回ゴルフコンペ 勝田ゴルフ倶楽部)
- 11月29日 第5回理事会 10名
- 12月12日 建築学科設備・環境系学生への建設業界セミナー
- 3月13日 第6回理事会 8名

平成24年度会計報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日
[収入の部] (円)

項 目	予 算	決 算
1 前年度繰越金	862,153	862,153
2 会費120人分	360,000	258,000
3 総会費用差額	0	149,860
4 銀行利息	50	71
合 計	1,222,203	1,270,084

[支出の部] (円)

項 目	予 算	決 算
1 水曜会賞経費(2万円×4本、賞状印刷)	103,000	98,459
2 総会会場費	51,000	50,190
3 平成24年度総会案内発送費	85,000	65,450
4 会報15号作成発送費	170,000	158,663
5 会議費(理事会6回開催)	60,000	49,220
6 通信費・雑費(慶弔費)	15,000	3,615
7 新ゼミ生交流会	100,000	80,000
1～7 計	584,000	505,597
8 次年度繰越金	638,203	764,487
合 計	1,222,203	1,270,084

上記に相違無きことを認める。

監査役 谷村 正道 印

監査役 嘉治 憲夫 印

平成25年度予算案

平成24年4月1日～平成25年3月31日
[収入の部] (円)

項 目	金 額
1 前年度繰越金	764,487
2 会費100人分	300,000
3 銀行利息	50
合 計	1,064,537

水曜会ホームページ紹介

- 水曜会では独自ドメインを取得してホームページを立ち上げております。これまでも年1回の会報の発行や総会などを通じ、会員相互の情報交換や交流を図ってきましたが、より効率的に情報を配信すべく、整備を続けています。まだまだ情報不足で寂しいホームページではありますが、定期的に更新・拡充して会員の皆様に有益な情報を発信できればと思います。是非アクセスしてみてください。 URL: <http://www.meiji-suiyoukai.com>

[支出の部] (円)

項 目	金 額
1 水曜会賞経費(2万円×4本、賞状印刷)	100,000
2 総会会場費	51,000
3 平成25年度総会案内状発送費(往復はがき)	72,000
4 会報16号作成発送費	170,000
5 会議費(理事会6回程度開催)	60,000
6 通信費・雑費(慶弔費)	15,000
7 新ゼミ生交流会	80,000
1～7 計	548,000
8 次年度繰越金	516,537
合 計	1,064,537

平成25年度事業計画

今年度も下記の3つの部会を中心に活動します。会員の皆様方には、各部会が主催する行事への積極的な参加をお願いするとともに、さらなるご協力をお願いします。なお、今年度の理事会も平常通り、6回開

催する予定です。

■運営部会 部会長:戸邊 和幸

会員相互の交流と親睦を図ります。

総会開催後に懇親会を開催。

ゴルフコンペを開催 平成25年10月12日(土);第1候補日 場所未定

■研究部会 部会長:中村昌行

講演会・見学会などの企画をします。

総会開催日に合わせて講演会を開催

技術見学会の開催 平成25年9、10月頃(未定)

■広報部会 部会長:金井 伸二

会員間の情報交換を図ります。

第16号会報の発行 平成25年12月(予定)。

ホームページ(<http://meiji-suiyoukai.com/index.html>)の管理。

メールマガジンの発行。

■環境設備系の新ゼミ生との交流

新ゼミ生に対して、建設業界の説明会を開催 平成25年12月(予定)。

明治大学 水曜会 平成25年度役員名簿

★:新任

役 職	氏 名	担当部会	卒 年	研究室	勤 務 先
相談役	坂上 恭助		1974 (S.49)	篠 原	明治大学
相談役	加治屋亮一			木 村	明治大学
相談役	酒井 孝司		1990 (H. 2)	貝 塚	明治大学
相談役	上野佳奈子				明治大学
顧 問	北島 敬造		1956 (S.31)	篠 原	
顧 問	佐藤 善昭		1957 (S.32)	篠 原	
顧 問	清水 正巳		1961 (S.36)	篠 原	
顧 問	富田 隆造		1966 (S.41)	篠 原	
顧 問★	山下 幸人		1973 (S.48)	篠 原	ピーエーシー環境モード
顧 問	平川 清		1966 (S.41)	篠 原	ひらかわ環境デザイン
顧 問	須藤 俊彦		1975 (S.50)	貝 塚	(株)日建設計総合研究所
会 長	平松 哲也		1979 (S.54)	貝 塚	久米設計
副会長	志賀 一鑑		1978 (S.53)	篠 原	佐藤総合計画
副会長★	伊豆丸 暢	運営	1982 (S.57)	篠 原	テクノ菱和
1	尾崎 幸平		1977 (S.52)	貝 塚	空港環境整備協会
2	中村 昌行	研究部会長	1978 (S.53)	篠 原	東京ガス都市開発
3	小山 実		1982 (S.57)	坂 上	日比谷総合設備
4	戸邊 和幸	運営部会長	1982 (S.57)	篠 原	東京ガス
5	森下 剛		1982 (S.57)	坂 上	明治大学
6	吉田 孝之	研究	1983 (S.58)	坂 上	野村不動産
7	金井 伸二	広報部会長	1983 (S.58)	篠 原	東京建物
8★	内田 臣哉	事務局長	1988 (S.63)	貝 塚	久米設計
9★	鈴木 幸人		1990 (H. 2)	坂 上	鹿島建設株式会社
10	中谷 豊		1992 (H. 4)	貝 塚	INA 新建築研究所
11	久保隆太郎	広報	2000 (H.12)	加治屋	(株)日建設計総合研究所
12★	西村 欣英		2003 (H.15)	松 尾	長谷工コーポレーション
13	中澤 大	運営	2005 (H.17)	加治屋	山下設計
14	光永 威彦	事務局	2006 (H.18)	坂 上	山下設計
15	蛭田 厚大	研究	2007 (H.19)	加治屋	佐藤総合計画
16	松木 直哉	広報	2007 (H.19)	加治屋	山下設計
17	小野 浩己	広報	2008 (H.20)	酒 井	電力中央研究所
監査役	谷村 正道		1970 (S.45)	篠 原	(株)レックコンストラクション
監査役★	山下 幸人		1973 (S.48)	篠 原	ピーエーシー環境モード

編集後記

今年も会報の編集を担当させていただきました。やっと編集にも慣れてきましたが、相変わらず執筆をお願いした皆様にご迷惑をお掛けしながらも何とか会報を無事発行することができました。ご協力ありがとうございました。

次号以降の会報につきまして、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

広報部会 金井 伸二(1983年篠原研)